管理運営状況 評価シート【令和5年度】

(評価日令和6年6月18日)

1 施設の概要

| 施設名 | 岩手県折爪岳森林公園 |
|----------|--|
| 所在地 | 二戸市福岡字織詰 26-2 |
| 電話・FAX | 電話 0195-23-7599 FAX 0195-23-7599 |
| HP・電子メール | HP http://www.city.ninohe.lg.jp |
| 設置根拠 | 森林公園条例(昭和55年3月25日条例第26号) |
| 設置目的 | (設置:平成6年5月1日) 県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図る。 |
| 施設概要 | 公園面積 461ha 建物面積 もりの学び舎 (延べ315.62 m²) 主な施設 野鳥観察小屋 |
| 施設所管課 | 岩手県農林水産部森林保全課 (電話 019-629-5797(直通)、メールアドレス AF0012@pref. iwate. jp) |

2 指定管理者

| 指定管理者名 | 二戸市 |
|--------|--|
| 指定期間 | 令和5年4月1日~令和10年3月31日(5年間) |
| 連絡先 | 住所 二戸市石切所字荷渡 6 番地 3 二戸市産業振興部商工観光流通課 電話 0195-43-3213 |

3 指定管理者が行う業務等

| 業務内容(主なもの) | 1 施設及び設備の維持管理に関する業績 2 その他森林公園の利用の促進に関する | | |
|------------|--|---|----------------------|
| 職員配置、管理体制 | 7名 (令和5年4月1日現在) (内訳) 正職員3名、(公社) 二戸市シルバー人材 センター4名 | ・副部長・副主幹・主事[再委託記・(公社) | 兼観光係長 |
| 利用料金 | 物品販売等(1人1日までごと 540円)、業務として行う写真撮影(1日までごと1台ごと 220円)、展示会等(1日までごと4,840円) | | |
| 開館時間 | 9時~17時 | 休館日 | 冬季(11月第4日曜日~4月第4土曜日) |

4 施設の利用状況

(単位:人)

| (利用者数、稼 | 前期間 | | 指定管 | 理期間 | | 備考 |
|----------|---------|--------|-----|-----|--------|---------------------------------------|
| 働率等) | 平 均 | 令和5年度 | 年度 | 年度 | 期間平均 | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
| 第1四半期 | 3, 452 | 2, 726 | | | 2, 726 | |
| 第2四半期 | 4, 556 | 4, 939 | | | 4, 939 | |
| 第3四半期 | 2, 370 | 1, 343 | | | 1, 343 | |
| 第4四半期 | _ | _ | | | | 11~4月休園 |
| 年間計 (実績) | 10, 379 | 9,008 | | | 9, 008 | |
| 年間計 (計画) | | _ | | | | |

5 **収支の状況** (単位: 千円)

| | NOC - 1 1000 | | | | | | |
|----|--------------|--------|--------|--------|----|---------|----|
| | | 前期間指統 | 指定管 | 指定管理期間 | | /±: ±z. | |
| | 区 分 | 平 均 | 令和5年度 | 年度 | 年度 | 期間平均 | 備考 |
| | 利用料金収入 | _ | _ | | | | |
| rl | 県委託料 | 3, 410 | 3, 421 | | | | |
| 収入 | 自主事業収入 | _ | _ | | | | |
| | | | | | | | |
| | 小計 | 3, 410 | 3, 421 | | | | |
| | 人件費 | 1,652 | 1,700 | | | | |
| | 維持管理費 | 1, 758 | 1,744 | | | | |
| 支 | 事業費 | _ | | | | | |
| 出 | 自主事業費 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 小計 | 3, 410 | 3, 444 | | | | |
| 収3 | 支差額 | 0 | 23 | | | | |

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見(満足度等)の把握方法

| 把握方法 アングート美胞 主体 一戸巾 |
|---------------------------|
|---------------------------|

(2) 利用者からの苦情・要望

| -7 100 a | | | | |
|---|--------|--|--|--|
| 受付件数 苦情 0件、要望 12件、 | その他 0件 | | | |
| 主な苦情、要望等 | 対応状況 | | | |
| ①古い案内板の更新 県へ更新を要望しつつ、来場者にはわかりやすく説明した | | | | |
| ②食事、おむつ代え、遊びの場所が欲しい 外での食事場所や山の家を案内した | | | | |
| ③学び舎が暗く寒い 節電しつつも来場者に応じた対応と、県へ灯油タンク改修要望 | | | | |
| その他利用者からの積極的な評価等 管理人の対応が親切だった。施設が清潔に管理されている。織姫の丘展望台からの眺望が素晴らしい | | | | |

7 業務点検・評価(※)

(1) 業務の履行状況

| 項目 | 事業計画、県が求める水準 | 実績(指定管理者の自己評価) | 評価 指標 |
|---------|--|---|-------|
| 運営業務 | ・開館期間:4月第4日曜日~11月 第4土曜日 ・開館時間:9時00分~17時00分 ・休館日:設けない ・利用者に対し、正当な理由がないの に施設の利用を拒むなど、不当な差 別的取扱いをしていないか(公共性、 公平性の確保) | ・開館期間:4月30日(日)~11月 18日(土)※水道、路面凍結のため ・開館時間:9時00分~17時00分 (ヒメボタル観賞期間は21時まで) ・休館日:開館期間中は設けていない ・利用者に対し、正当な理由がないの に施設の利用を拒むなど、不当な差 別的取扱いをしていない | A |
| 施設の利用状況 | ・過去の実績程度の利用者数を確保している。 | 期間平均では前期から1,371人減4~8月は増加したが、全国的な熊出没のニュースの影響か、9~11月の利用者数減が顕著 | В |
| 事業の実施状況 | ・イベントを計画的に実施し、参加人数を把握している。 | ・学習体験型イベントを 5 月~1 月 で計 16 回実施、延べ 280 人参加 ・森林ウォーキングを 7 月 23 日に実 | A |

| | | 施、10人参加 | |
|----------------------------|------------------------------------|-------------------------|---|
| | | - パー・ヒメボタル観賞を7月5日~12日 | |
| | | で実施、1,356人参加 | |
| 施設の維持管理状況 | 保守管理業務、清掃業務、保安警備 | ・管理業務委託により、施設や公園内 | Α |
| 加設の外に行目を主人化 | 業務、外構、植栽管理業務、環境衛生 | の管理、清掃、巡回等を毎日実施 | Α |
| | | | |
| | 管理業務、廃棄物処理業務 | ・遊歩道等草刈業務委託により、公園 | |
| | ・法定保守点検は法令に基づき実施 | 内の遊歩道や施設周辺の草刈、清掃 | |
| | されている。 | 等の管理作業を6~3月で7回実施 | |
| | ・小規模修繕、備品購入等の状況 | ・給水施設保守管理業務委託により、 | |
| | ・設備、備品の管理の程度 | 水道の保守管理を実施 | |
| | ・鍵の管理状況 | ・消防法に基づく点検を年2回実施 | |
| | ・避難経路に障害物を置いていない。 | ・設備、備品等は良好に管理している | |
| | ・施設の形質を許可なく変更してい | ・施設の鍵は、ふるさと自然公園セン | |
| | ない。 | ター事務室内の鍵箱に施錠して保管 | |
| | | ・避難経路に障害物を置いていない。 | |
| | | ・施設の形質を許可なく変更してい | |
| | | ない | |
| 記録等の整理・保管 | ・業務日誌、点検記録簿、整備・修繕 | ・管理記録等は毎日事務室で整理し | Α |
| | 等の履歴など、各種管理記録等は整 | 施錠して保管、月締め後にまとめて、 | |
| | 理、保管されている。 | 市商工観光流通課で保管 | |
| 自主事業、提案内容の実施 | ・提案した事業の管理運営、事業等が | ・提案した事業として6~8月に学習 | A |
| 状況 | 計画的に行われている。 | 体験型イベントを6回、7月5日~ | |
| | ・提案事業ができない場合、代わりに | 12 日にヒメボタル観賞を実施 | |
| | 取り組んでいる事業の状況。 | , , , , , , , , , , , , | |
| (施設所管課評価) | | 1 | A |
| ・成果のあった点 | | | |
| | に施設の管理・運営を行った。 | | |
| | こし、草刈りを行い、観察会等自主事業 | を適切に実施した | |
| ・改善を要する点 | | ニ ルピ フィー・ノベルビ しょこ。 | |
| 特になし | | | |
| はてそっ | | | |

(2) 運営体制等

| (=) (C_) (1) (1) (1) | | | |
|------------------------|--|---|----------|
| 項目 | 事業計画、県が求める水準 | 実績(指定管理者の自己評価) | 評価 指標 |
| 職員の配置体制 | ・知識、経験を有する人員が適切に配置されている。 ・職員が仕事内容を十分に把握している。 | ・開館期間中に毎日 2 名の管理人が 常駐する再委託者は、施設オープン 時から管理を受託し、森林公園や施 設に対する知識、サービス等に対す る経験も豊富であり、仕事内容を十 分に把握している。 | A |
| 苦情、要望対応体制 | ・苦情・要望等の受付・処理体制が整備されている。 ・苦情・要望等への対応が適切である。 ・職員間の情報共有が適切に行われている。 | ・苦情、要望等は、事務室やアンケート等で受け付けた後、速やかに管理人と市で適切な対応を行うとともに、職員間で情報共有している。 | A |

| | Τ | | |
|---------------------------|--------------------|--------------------|---|
| 危機管理体制(事故、緊急 | 次について適切に行われている。 | ・開館期間中、毎日施設や公園内の見 | Α |
| 時の対応) | ・事故防止の対策 | 回りを行い、事故防止をしている。 | |
| | ・緊急事態発生時の対処マニュアル | ・緊急事態発生時の折爪岳森林公園 | |
| | 等の整備 | 防災・危機管理マニュアルを作成し | |
| | ・非常訓練等の実施 | ている。 | |
| | ・事故発生時の対応、報告 | ・開館時に緊急連絡体制や避難方法 | |
| | ・再発防止のための措置等 | の確認を行うとともに、AEDの使用に | |
| | | ついても確認を行っている。 | |
| | | ・事故発生時は、非常時連絡系統図に | |
| | | より報告を行い対応する。 | |
| | | ・事故等発生の場合は、関係者で再発 | |
| | | 防止について打合せ、措置を行う。 | |
| コンプライアンスの取組 | ・法令遵守への取組みがなされてい | ・施設や森林公園の管理を条例に基 | Α |
| み、個人情報の取扱い | る。 | づき行っている。 | |
| | ・公の施設としての公共性、公平性が | ・公の施設として、公共性、公平性を | |
| | 確保されている。 | 確保できるよう管理している。 | |
| | ・個人情報が適正に管理されている。 | ・個人情報の適正な取扱いに関して | |
| | ・個人情報の適正な管理のために必 | 職員で確認するとともに、外部閲覧 | |
| | 要な措置を講じている。 | 禁止の措置や事務室の施錠徹底を行 | |
| | ・県の承諾なしに、業務を第三者に委 | った。 | |
| | 託していない。 | ・基本協定に基づき、施設の維持管 | |
| | | 理、公園の案内、監視業務について、 | |
| | | 委託している。 | |
| 県、関係機関等との連携体 | ・県や関係機関との意思疎通が十分 | ・月例の施設管理状況をはじめとす | A |
| 制 | に図られている。 | る各種報告など、二戸農林振興セン | |
| | | ター林務室との情報共有を密に行う | |
| | | こととし、管理状況の報告に遅滞の | |
| | | ないよう務めた。 | |
| (施設所管課評価) | | | A |
| 成果のあった点 | | | |
| 職務内容を十分理解した | 職員を適切に配置し、業務を円滑に行っ | った。 | |
| 緊急時に備えた避難方法 | 、連絡体制の確認を実施し、利用者の領 | 安全確保に努めた。 | |
| ・改善を要する点 | | | |
| 特になし | | | |

(3) サービスの質

| 項目 | 事業計画、県が求める水準 | 実績 (指定管理者の自己評価) | 評価指標 |
|-----------|-------------------|-----------------------------------|------|
| 運営業務 | ・職員の接客態度が良好である。 | ・来館者に施設の案内や説明を実施 | Α |
| | ・各種事業等が適切に実施されてい | し、対応について好評を得ている。 | |
| | る。 | ・管理計画書で計画している事業は | |
| | ・施設の管理・運営に必要な研修等が | 全て実施 | |
| | 実施されている。 | ・開館時に、必要な研修を行ってい | |
| | | る。 | |
| 利用者サービス | ・利用者ニーズに応じた施設運営状 | ・開館期間中は、休館日を設けること | Α |
| | 況(利用日・利用時間等)である。 | なく 9 時~17 時まで開館、ホタル観 | |
| | ・積極的・効果的な広報活動を行って | 賞期間中は時間を延長して開館した | |
| | いる。 | ・折爪岳ホームページや SNS で広報 | |
| | ・PRに効果的なホームページが作 | のほか、イベント周知もしている。 | |
| | 成・運営されている。 | ・施設では休館日なく、市担当課でも | |
| | ・施設利用等の予約がしやすい。 | 平日電話で利用予約が可能 | |
| | ・利用者サービスの維持・向上に向け | サービス向上に向けて取り組んで | |
| | た取組みを行っている。 | いる。 | |
| 利用者アンケート等 | ・利用者アンケート等を行い、利用者 | アンケートを実施しており、要望等 | A |

| | の意見等の把握に努めている。 | には速やかに対応している。 | |
|---|------------------|---------------|---|
| | ・アンケート結果等に対し適切に対 | | |
| | 応している。 | | |
| (施設所管課評価) | | | Α |
| ・成果のあった点 | | | |
| 施設管理運営に関する研修を実施し、利用者への適切な対応に努め、苦情がなかった。 | | | |
| 折爪岳ホームページや二戸市ホームページのほかフェイスブックを活用し、積極的に広報活動を行い | | | |
| 誘客に努めた。 | | | |
| ・改善を要する点 | | | |
| 特になし | | | |

(4) サービス提供の安定性、継続性

| 項目 | 事業計画、県が求める水準 | 実績(指定管理者の自己評価) | 評価 |
|-------------------|-------------------|----------------------|----|
| | | | 指標 |
| 事業収支 | ・応募段階の収支計画と乖離してい | ・概ね指定管理料内の支出額となっ | В |
| | ない。 | ている | |
| 指定管理者の経営状況 | ・財務状況が著しく悪化していない。 | ・概ね計画どおりだが、修繕が必要な | В |
| | 悪化している場合、要因分析のう | 個所が多々あり、現在の収入だけで | |
| | え改善策実施。 | は厳しい状況である | |
| (施設所管課評価) | | | В |
| ・成果のあった点 | | | |
| 概ね計画どおりの収支実 | 績となっており、ふるさと自然公園セ | ンターと山の家、もりの学び舎を一元 | |
| 管理し、経営の健全化に努めている。 | | | |
| ・改善を要する点 | | | |
| 特になし | | | |

※(注1)県記載欄:「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」 指定管理者記載欄:「実績(自己評価)」

(注2) 評価指標

- A:協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績(効果)があり、優れた管理がなされている。
- B: 概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績(効果)があり、適切な管理が行われている。
- C:一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D:協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

- (1) 指定管理者の自己評価
 - ① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項
 - ・公園内の巡視や草刈りを徹底し、事故防止に努めた
 - ・自主事業であるホタル観察会に積極的に取り組み、8月までの利用者数は増加した
 - ② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項 施設の老朽化などにより、修繕が必要と判断される個所を発見した場合、早期に二戸農林振興センター林務 室へ報告しているが、財源不足によりすぐに修繕できない状況となっている
 - ③ 県に対する要望、意見等
 - ・もりの学び舎の灯油タンクの修繕
 - ・もりの学び舎の冷蔵庫の更新
 - ・もりの学び舎の屋根劣化部分の再塗装
 - ・山居権現の看板の更新
 - ・案内板の更新

(2) 県による評価等

- ① 指定管理者の運営状況について
- ・もりの学び舎とふるさと自然公園センターの一括管理に取り組み、経費の節減等に努めた。
- ・自主事業であるホタル観察会の参加者は、好評で参加者が1,280人と大幅増となった。
- ② 県の対応状況について(自己評価)
- ・指定管理者と定期的に連絡を取り、管理・運営状況の把握、情報共有に努めた。
- ・施設整備の修繕等については、利用者等の安全性を考慮し、優先度の高いものから実施している。今年度は、要望のあった煙突修繕を実施した。令和6年度は要望のあったもりの学び舎のオイルタンクの修繕を予定している。しかし、予算の都合によりすべてには対応できていない。
- ③ 次期指定管理者選定時における検討課題等
- ・もりの学び舎に併設されているふるさと自然公園センターの管理者と連携する必要がある。

| 9 | 改善状況等 |
|---|-------|
| 9 | 以古外儿丑 |

| 改善を要すると評価された項目 (C、D評価の項目について) |
|-------------------------------|
| |
| |
| |
| 改善状況 |
| (指定管理者から県への報告年月日: 年 月 日) |
| |
| |
| |
| 改善状況の確認 |
| (再評価年月日 年 月 日) |
| |
| |
| |